

事後調査計画書

平成 24 年 7 月 9 日

広島市長

事業者 (法人にあつては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)

住 所 広島市中区東千田町二丁目 9 番 29 号

氏 名 広島電鉄株式会社

代表取締役社長 越智 秀信

電話番号 082-242-3500

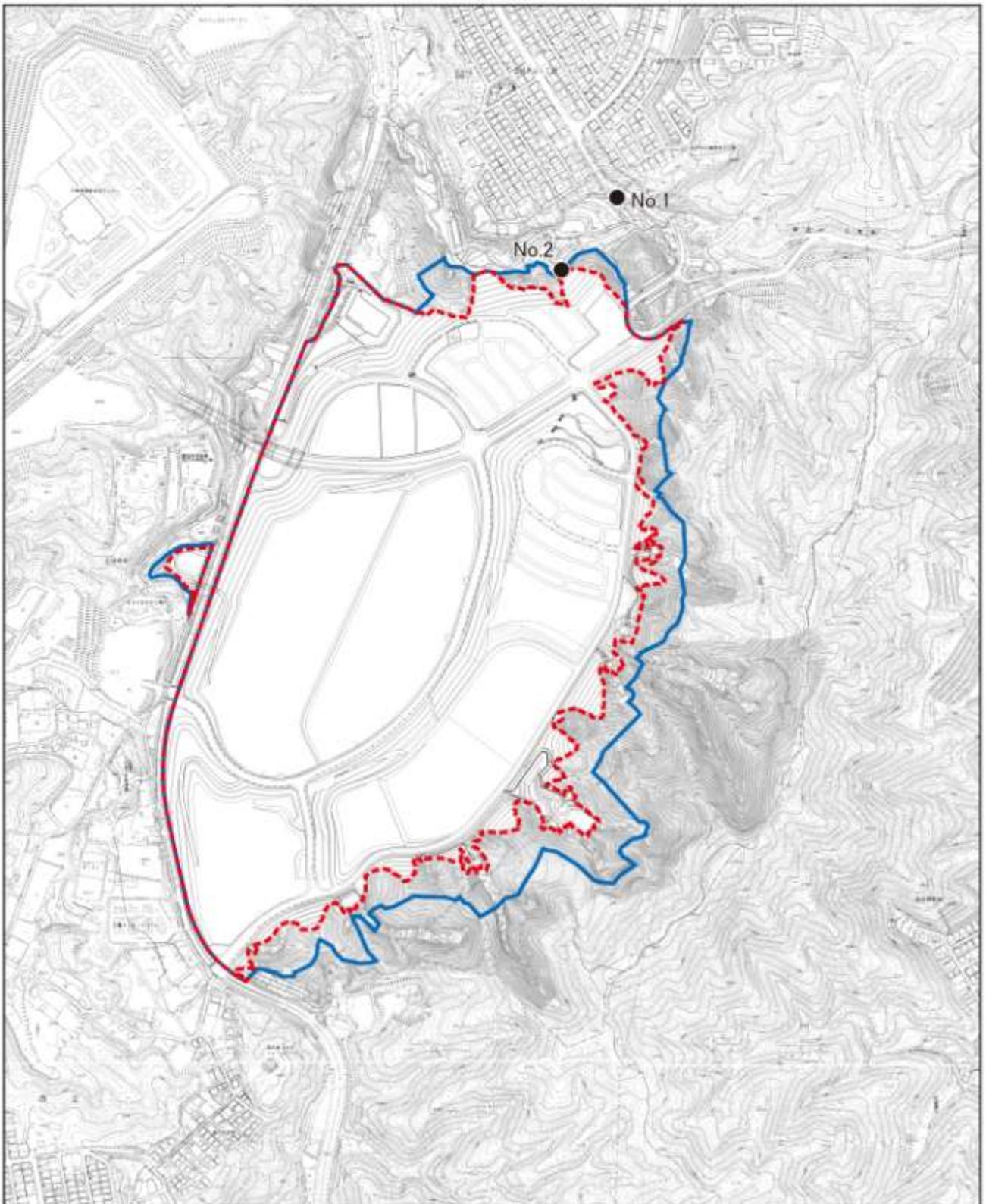
広島市環境影響評価条例第 30 条第 2 項の規定により、次のとおり事後調査計画書を提出します。

対象事業の名称	(仮称) 石内東地区開発事業
事後調査の種類	工事の実施中
工事の着手又は完了の年月日	工事の着手：平成 24 年 7 月 2 日
事後調査の項目及び手法	別紙のとおり
事後調査を行う期間	平成 24 年 7 月～平成 27 年 3 月 31 日
事後調査報告書の提出の時期	毎年 11 月末
その他	名 称：大林組・日本国土開発・広電建設・清水建設共同企業体 代表者：所長 易 伸一 所在地：広島市佐伯区五日市町大字石内 6178-6



工事実施中における事後調査の項目及び調査地点、調査時期・頻度

調査項目		調査方法	調査地点、調査時期・頻度
騒音・振動	建設工事騒音	騒音 (JIS Z 8731) 振動 (JIS Z 8735)	調査地点：2 地点 (図 1) (事業計画地北側敷地境界 1 地点、伴広島線と旧道との交差点付近 1 地点) 調査時期：北側における工事の最盛期 調査頻度：2 回
水質汚濁	水質 (SS)	「河川水質試験方法 (案)」及び「建設省河川砂防技術基準 (案)」	調査地点：石内川 2 地点 (図 2) (仮設調節池及び調節池の上流側と下流側) 調査時期：造成工事期間中 調査頻度：1 回/年 (雨天時)
水象	地下水位	自記水位計による連続観測	調査地点：2 地点 (図 3) (事業計画地及び周辺の北・南各 1 地点) 調査時期：造成工事期間中 調査頻度：造成工事期間中連続
	地下水質	水道法の水質基準 (一般細菌、大腸菌、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素、塩化物イオン、有機物、pH 値、味、臭気、色度、濁度)	調査地点：7 地点 (図 3) (事業計画地及び周辺の地下水位観測 2 地点、事業計画地周辺の南北の井戸 5 地点) 調査時期：造成工事期間中 調査頻度：年 4 回
		地下水の環境基準 (28 項目)	調査地点：5 地点 (図 3) (事業計画地周辺の南北の井戸 5 地点) 調査時期：造成工事開始前と終了後 調査頻度：各 1 回
動物・植物・生態系	ため池の生物群集 (イモリ、モリアオガエル及び水生昆虫類)	生息状況観察	調査地点：移植先 1 ヶ所 調査時期：移設後 5 年間の造成工事期間中 調査頻度：1 ~ 2 回/年
	貴重植物種 (キヨスミイトゴケ、カビゴケ、タカサゴキジノオ、タニヘゴ、オニヒカゲワラビ、ヘラシダ、ハンゲショウ、センリョウ、タマミズキ、セトウチウンゼンツツジ、クロバイ、ササユリ、チュウゴクザサ、コ克蘭)	生育 (活着) 状況観察	調査地点：各移植先 調査時期：移植後 5 年間の造成工事期間中 調査頻度：1 ~ 2 回/年
	林縁保護植栽	生育状況観察	調査地点：林縁保護植栽実施地点 調査時期：工事着手 5 年間の造成工事期間中 調査頻度：1 ~ 2 回/年
	ギフチョウ・サンヨウアオイ	サンヨウアオイの生育 (活着) 状況観察 ギフチョウの生息状況確認	調査地点：移植先 3 ヶ所 調査時期：移植後 5 年間の造成工事期間中 調査頻度：1 回/年
廃棄物	廃棄物の種類・発生量・処分	工事台帳等の確認	造成工事期間中を対象



凡 例

- 事業計画地
- - - 開発行為申請予定地域
(改变区域)

● 調査地点

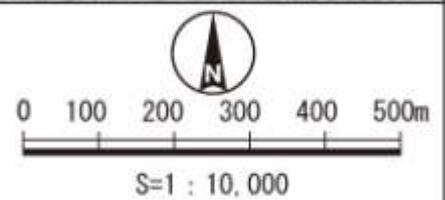
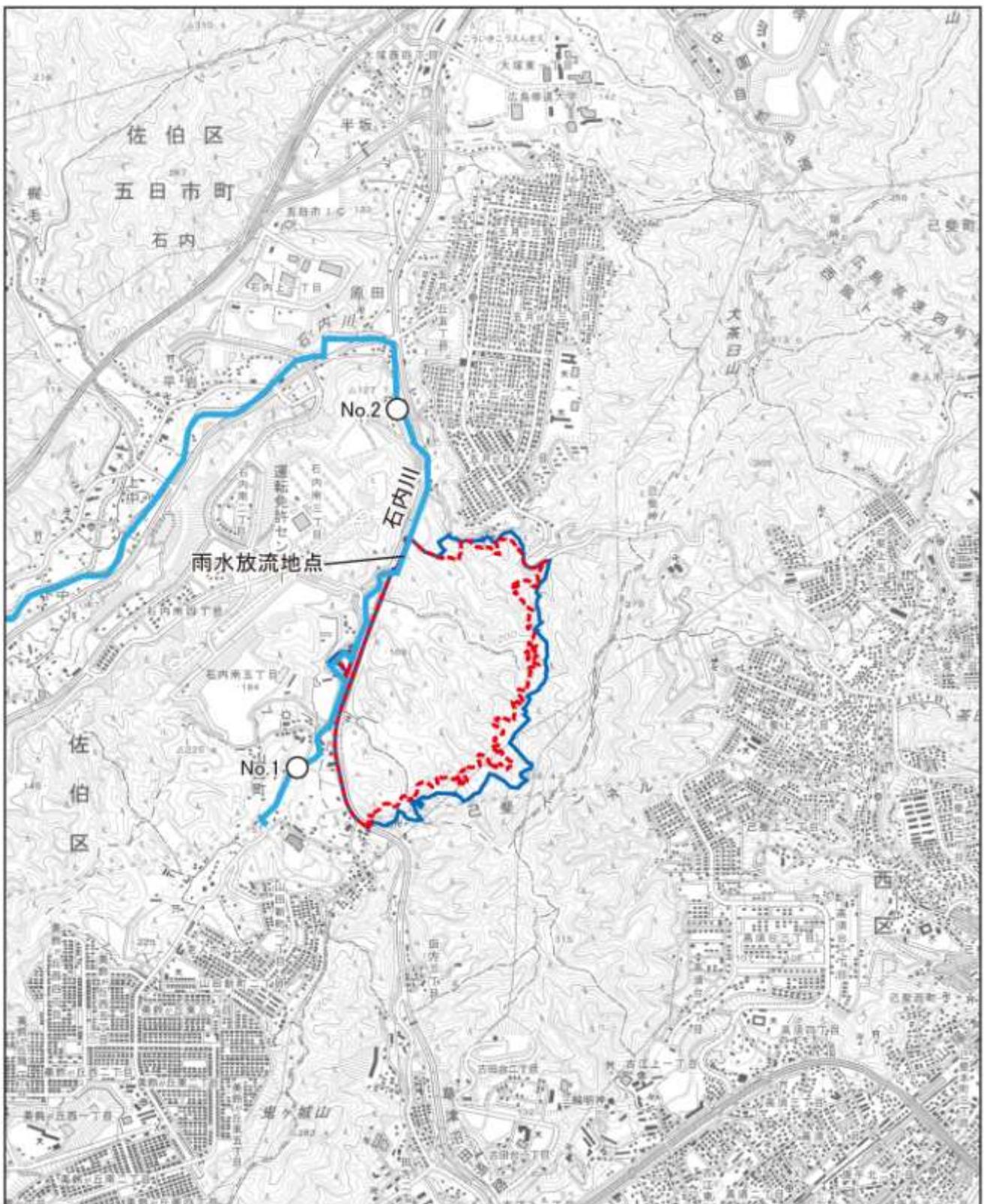


図1 騒音・振動調査地点



凡 例

- 事業計画地
- - - 開発行為申請予定地域 (改变区域)
- 水质調査地点
- 石内川

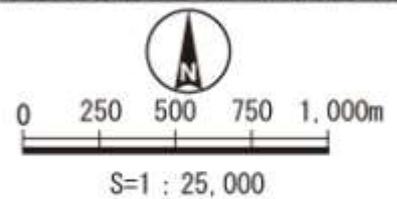
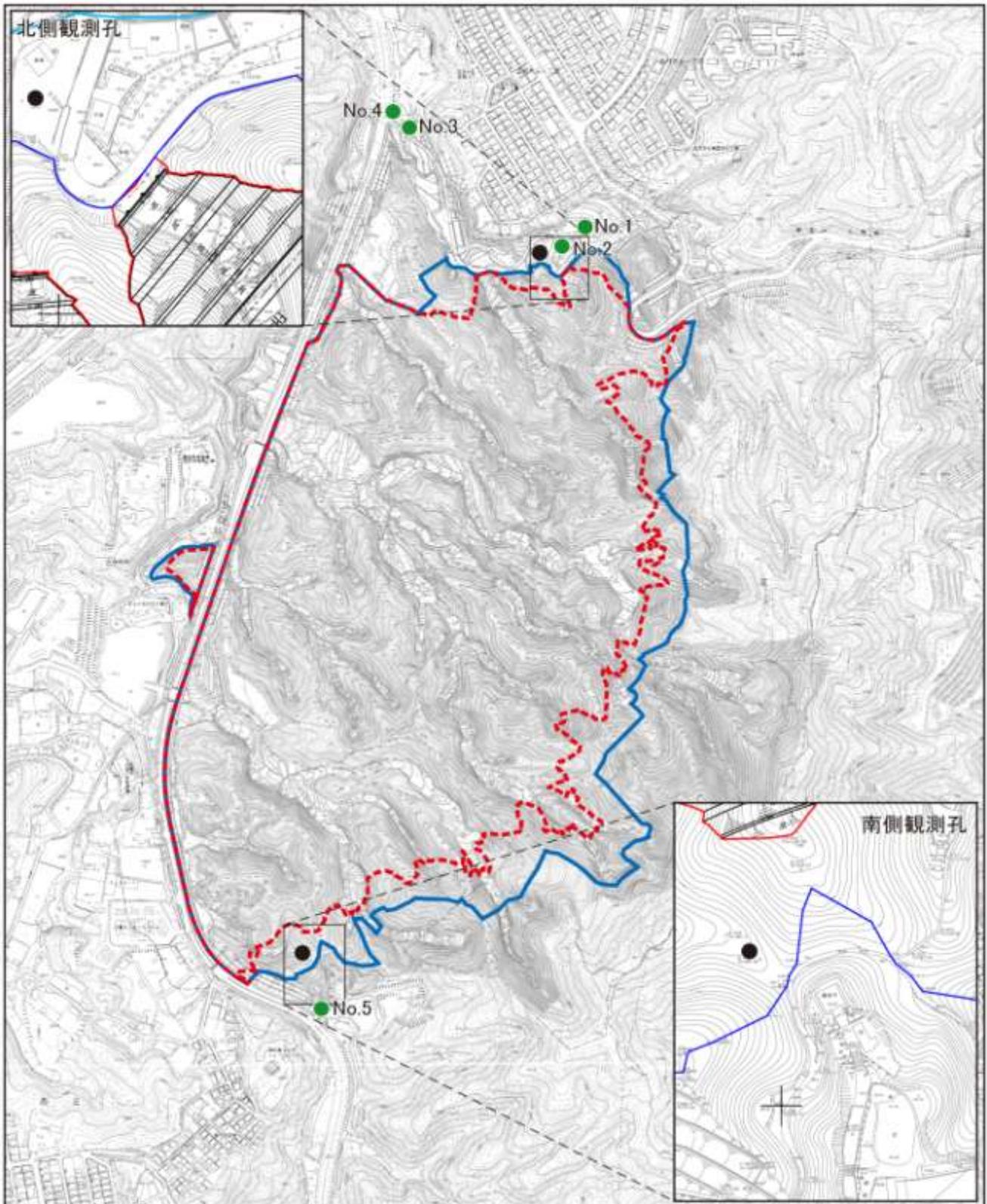


図2 水质調査地点



凡 例

- 事業計画地
- - - 開発行為申請予定地域 (改変区域)

- 井戸の位置
- 地下水位観測孔 (改変区域)

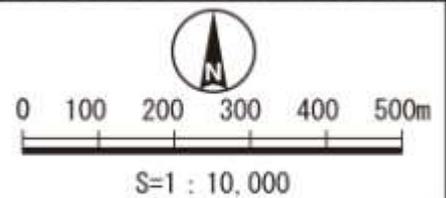


図3 地下水位調査位置